



！ 注意事項

「プロジェクト・エクスプローラー」ビューなどの選択状態によっては、「Web サービス (WSDL 起点)」ダイアログを表示した場合に、「プロジェクト」が空の状態に関わらず、「終了」ボタンが活性化していることがあります。「終了」ボタンをクリックすると、Eclipse の API の挙動により、エラーダイアログとエラーログに `InvocationTargetException`、および `NullPointerException` が出力されることがあります。この場合、「プロジェクト」、および、「Java ソース・フォルダー」を指定すると、処理を続行できます。

4. 次の項目を指定します。

項目名	指定値
プロジェクト	ワークスペースの動的 Web プロジェクト名または EJB プロジェクト名を選択します。
WSDL ファイル	WSDL ファイル、または WSDL ファイルの URL を指定します。
Java ソース・フォルダー	Java ソースを生成するフォルダを指定します。

次に示す設定をした場合、「Web サービス (WSDL 起点)」ダイアログを表示すると、「Java ソース・フォルダー」が空欄となり、以降の操作ができなくなります。そのため、「Java ソース・フォルダー」には、プロジェクトルート以外を設定してください。

- Web サービスの開発に使用するプロジェクトの「プロパティ」ダイアログの「Java のビルド・パス」ページで、「ソース」タブの「ビルド・パス上のソース・フォルダ」にプロジェクトルートを設定した場合

また、「プロジェクト」および「Java ソース・フォルダー」に入力した値を変更すると、次に示す項目の値が初期状態に戻ります。

- 「プロジェクト」の値を変更した場合
「WSDL ファイル」、「Java ソース・フォルダー」、「Java パッケージ」、および「バインディング・ファイル」の値が初期状態に戻ります。

作成」を指定します。

7. [終了] ボタンをクリックします。

選択したリソースがコピーされます。

8. ライブラリを移行します。

手順 1. ～ 3. を実行して、[インポート] ダイアログの [ファイル・システム] ページを表示します。

9. [次のディレクトリーから] に、移行する EAR プロジェクトロケーションディレクトリ ¥<EAR のルートフォルダ>を指定します。

[参照] ボタンからも指定できます。

インポートの選択ペインに指定されたディレクトリ内のフォルダおよびファイルが表示されます。

10. 移行するリソースを選択します。

右ペインで移行するライブラリのチェックボックスをチェックします。

11. [オプション] で [選択されたフォルダのみを作成] を指定します。

12. [終了] ボタンをクリックします。

選択したリソースがコピーされます。

注意事項

- 移行対象となるリソースについては、「付録 J.2 移行対象となるリソース」を参照してください。
- Windows のエクスプローラを使用してファイルをコピーすることもできます。ただし、エクスプローラを使用した場合、[プロジェクト・エクスプローラー] などのビューにコピーしたフォルダやファイルが表示されません。コピーしたフォルダやファイルを表示するには、[プロジェクト・エクスプローラー] ビューでプロジェクトを選択し、コンテキストメニューから [更新] を選択してください。

(b) application.xml の移行方法

エンタープライズアプリケーションプロジェクトを作成する際に、application.xml のひな型が生成できます。生成した application.xml に、移行前の環境で使用していた application.xml の定義内容をコピーします。エンタープライズアプリケーションプロジェクトの作成については、「4.4.4 エンタープライズアプリケーションプロジェクトの作成」を参照してください。

次に、WTP で自動生成された application.xml の例を示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<application xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns="http://
java.sun.com/xml/ns/javaee" xmlns:application="http://java.sun.com/xml/ns/javaee/
application_5.xsd" xsi:schemaLocation="http://java.sun.com/xml/ns/javaee http://
java.sun.com/xml/ns/javaee/application_5.xsd" id="Application_ID" version="5">
  <display-name>HelloEAR</display-name>
  <module>
    <web>
      <web-uri>HelloWeb.war</web-uri>
      <context-root>HelloWeb</context-root>
    </web>
  </module>
  <module>
    <ejb>HelloEJB.jar</ejb>
  </module>
</application>
```

application.xml は、エンタープライズアプリケーションプロジェクト作成時に設定した情報を基に自動生成されます。次に、application.xml のそれぞれのタグについて説明します。

● <display-name> タグ

エンタープライズアプリケーションプロジェクトの作成時に、[EAR Application Project] ページで指定した [Project name] が自動設定されます。

プロジェクトのデバッグの設定 167
プロジェクトのビルド 292
プロジェクトのプロパティの移行 291

[ログイン・リモート管理] ダイアログ 90, 224

ほ

[ポート番号の設定] ページ 42
[ポート番号の設定変更] ページ 58

め

メールコンフィグレーションの取得 313
メールコンフィグレーションの設定 312
メールコンフィグレーションを使用しない場合 313
メッセージの作成 313
メッセージの送信 314

ゆ

ユーザ拡張性能解析トレース 4
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイル 4
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルのインポート 148
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルのエクスポート 156
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルの作成および設定 147
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルの作成および設定の流れ 147
ユーザ拡張性能解析トレース設定ファイルの編集 149
ユーザ拡張性能解析トレースの設定 158
ユーザ拡張性能解析トレースの利用による J2EE アプリケーションの性能解析 4
ユーザ拡張性能解析トレースを使用した J2EE アプリケーションのテスト支援機能 6

ら

[ライブラリーの追加] ダイアログ 220

り

リクエストで使用する場合の注意事項 19
リソースアダプタのインポート 107
リソースアダプタのプロパティ設定 258
リダイレクトによるエラーページの生成 119
リモート管理機能へのログインおよびログアウト 90
リロード機能 3, 10

ろ

ローカル変数情報の出力の設定 52